

さいたま市長 4月定例記者会見

平成30年4月20日（金曜日）

午後2時30分開会

○ 進 行 定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。
それでは、記者クラブ幹事社の共同通信社さん、進行をよろしく願い
いたします。

○ 共同通信 4月の幹事社を務めます共同通信と申します。よろしく申し上げます。
それでは、本日の記者会見内容につきまして、市長から説明をお願いい
たします。

○ 市 長 皆さん、こんにちは。
本市は、ラグビーワールドカップ2019の公認チームキャンプ地選定
プロセスに応募しておりましたが、本日組織委員会からルーマニア代表チ
ームのキャンプ地に内定したと発表されました。本市がアジア初の開催と
なります2019日本大会の公認チームキャンプ地として世界のトップチ
ームを受け入れることについて大変嬉しく思っております。

ルーマニア代表チームは、日本と同じ「プールA」、さらには初戦の対戦
相手ですので、注目度が高いチームでもございます。具体的な滞在期間、
宿泊施設等についてはセキュリティ上、申し上げることができませんが、
今後はルーマニア代表チームと市民との交流などを行い、大会を盛り上げ
ていきたいと思っております。

市長発表：議題「第35回大盆裁まつりと連動した魅力あふれるイベントを開催します」

それでは、本日の議題に入らせていただきます。本日の議題は「第35回
大盆裁まつりと連動した魅力あふれるイベントを開催します」についてご
案内を申し上げます。

本市の盆裁は、これまでも国内外から関心を持たれる魅力のある地域資
源でありましたが、昨年の世界盆裁大会の開催によりまして、さらに世界
中から関心を持たれるものとなりました。盆裁は、本市のブランディング
に資する貴重な財産であるとの認識のもと、本市では、新たに策定いたし
ました「しあわせ倍増プラン2017」や「成長加速化戦略」にも盆裁振

興を位置付け、全庁を挙げてあらゆる方面から振興を図ることとし、取組を進めているところでございます。今回の取組は、全庁一丸となって行う盆栽振興の一環として新たに取り組むものでございます。

まずは、全体像からご説明させていただきます。来月のゴールデンウィーク中の5月3日から5日にかけて「第35回大盆栽まつり」が開催されますが、世界盆栽大会が世界的にとっても高い評価であったことを踏まえまして、「大宮が盆栽で染まる日」となるよう、大盆栽まつりと連動して、大宮駅周辺などでも盆栽に関するさまざまな取組を行う予定となっております。

全体像としては、こちらの（スライドの）とおりでございます。まず、北区の盆栽町周辺のエリアにおきましては、「第35回大盆栽まつり」が開催されまして、大宮盆栽美術館では「ゴールデンウィークイベント」の開催、また盆栽四季の家駐車場では「大宮盆栽村おもてなしイベント」を開催いたします。また、大宮駅周辺エリアにおきましては、大宮駅東口の銀座通りや大宮一番街で各種イベントを開催するほか、大宮駅西口ではソニックシティでのイベントが開催されることになっております。

さらに、来訪者には、各会場のイベントや本市の観光資源を見ていただきたく、各会場と鉄道博物館や造幣局、また氷川神社などを結ぶシャトルバスを運行する予定となっております。

それでは次に、それぞれのイベントについて概要を説明させていただきます。まず、「第35回大盆栽まつり」は来月5月3日から5日にかけて3日間行われます。盆栽四季のみち、盆栽四季の家、大宮盆栽美術館駐車場、各盆栽園を会場とし、開催されます。会場では市民盆栽展や盆栽・盆器・山野草等の即売会、盆栽相談所が開設されます。例年約10万人の方々にご来場いただいているまつりとなっておりますが、今年もぜひ多くの皆様にご来場いただきたいと考えております。

次に、大宮盆栽美術館でのイベントについてご説明をさせていただきたいと思っております。大宮盆栽美術館では、例年大盆栽まつりに併せましてイベントを開催しております。今年は例年よりも内容をパワーアップさせまして、「ゴールデンウィークイベント」を開催いたします。

まずは、「ゴールデンウィーク特別ギャラリーツアー」の開催でございま

す。これは、大宮盆栽美術館のガイドによります盆栽鑑賞ギャラリーツアーとなっております、1日3回の開催を予定しております。盆栽の魅力に更に引き込まれること間違いなしのツアーとなっておりますので、ぜひご来場いただきたいと思います。

次に、「小学生の盆栽の展示」開催でございます。大宮盆栽美術館では、子どもたちに盆栽文化に触れていただくために、市内小学生を対象といたしました盆栽美術館見学ツアーでありますとか、子ども向けワークショップなど、さまざまな取組を行っております。

また、このような取組の一つとして、総合的学習の時間や土曜チャレンジスクールで盆栽作りを行っておりますが、このイベントはゴールデンウィークイベント期間中に小学生が育てた盆栽を展示するものでございます。小学生が丹精込めて育てた盆栽をぜひこの機会に見ていただきたいと思っております。

また、盆栽技術者によります実技の披露と解説講座を行う「特別盆栽実技」でございますけれども、普段なかなか見ることができない匠の技を間近で見ることができるようになっております。

そのほか、昨年好評でございました地元商店会と連携をしましてコーヒーや軽食等の販売を行います「盆美カフェ」を今年もオープンいたします。休憩所としてぜひご活用いただきたいと思っております。ぜひ大盆栽まつり期間中には大宮盆栽美術館にもお立ち寄りいただきたいと思っております。

また、盆栽四季の家駐車場のイベントでございますが、新たな取組として、「おもてなしイベント」を開催いたします。具体的には、休憩スペースを設置するほか、世界盆栽大会関係の展示、また東日本連携自治体の出展ブースの設置、特設ステージでの演奏会を開催しまして、大盆栽まつりを盛り上げるとともに来訪者のおもてなしを行ってまいります。

東日本連携自治体ブースは、現在本市が進めております東日本連携の取組の一環として行うものでございます。今回参加いただきますのは、新潟県の三条市でございます。三条市は、刃物や工具などの金物の産地として有名で、盆栽ばさみの製造などでも知られており、盆栽とのかかわりが深いということで今回の参加となりました。

そのほか、各会場の回遊性を高め、小中学生など若い世代の来訪を促す

ためのクイズラリーも実施してまいりたいと思います。

次に、大宮駅周辺でのイベントでございます。この大宮駅東口でございますが、今回新たな取組として、銀座通りにおきまして商店会と連携したイベント、「おおみや盆栽春まつり」を開催いたします。5月3日と4日の2日間は、銀座通りに交通規制をかけまして特設ステージを設置して、盆栽師「平尾成志」氏による盆栽パフォーマンスや「シンカリオン」の握手会を開催いたします。

盆栽師「平尾成志」氏の盆栽パフォーマンスは、盆栽の制作過程をショーとして紹介し、多くの方々に楽しみながら盆栽への興味を持ってもらう活動になっております。国際的に活躍をされております「平尾成志」氏のパフォーマンスは必見であります。ぜひ足を運んでいただきたいと思っております。

また、さいたま市を舞台といたしましたアニメ「新幹線変形ロボ シンカリオン」の握手会が主人公の地元、大宮で開催されます。まさに大宮駅周辺で開催するにふさわしいイベントだと考えており、鉄道と盆栽のコラボという点でも大変盛り上がるのではないかと期待しているところでございます。こちらのイベントにつきましても、多くの方々においでいただきたいと思っております。

そのほか、銀座通りや一番街での盆栽展示、休憩所の設置、着物を無料時間制により貸し出す「和装体験」を実施いたします。着物姿で盆栽と一緒に写真を撮れば、インスタ映えすることは間違いないということでありまして、ぜひ気軽にお試しいただければと思います。

次に、この大盆栽まつりの開催期間に合わせて運行するシャトルバスについてご説明をさせていただきます。大盆栽まつり開催期間にあわせまして、大盆栽まつりを訪れる観光客の満足度、それから回遊性の向上を図るため、新たな取組といたしましてシャトルバスを運行させていただきます。

運行ルートでございますが、大宮駅周辺、それから鉄道博物館前、大宮盆栽村、そして氷川神社、造幣局さいたま支局を回るルート、これを逆に回るルートで実施をいたします。合計3台のバスで、1周60分で回る予定でございます。シャトルバスの運行によりまして、大盆栽まつりや各会場で行われるイベントを移動の負担なく楽しんでいただけたらと考えており

ます。また、この機会に本市の観光資源であります鉄道博物館や造幣局さいたま支局、氷川神社などにもお立ち寄りいただきたいと考えております。

このほか、大宮駅の西口におきましては、ソニックシティがちょうどオープン30周年の記念事業といたしまして、埼玉県産業文化センター主催によります「埼玉アートフェスティバル2018」が開催されます。概要は、こちらの（スライドの）とおりでございます。

以上、大盆裁まつりにあわせてさまざまな取組を実施してまいります。今回実施する取組は、全庁のさまざまな所管が連携し、アイデア等を出し合って実施にこぎつきました新たな取組でございます。ぜひ今年のゴールデンウィークは大盆裁まつりと各イベント会場にお越しいただきたいと思っております。

私のほうからは以上でございます。

幹事社質問：

- ① さいたま国際マラソンに期待すること
- ② 2020年五輪聖火リレーについて
- ③ 公文書管理のあり方について

○ 共同通信

ただいまの市長からの説明について各社から質問をお願いします。よろしいでしょうか。

それでは続きまして、幹事社として代表質問させていただきます。質問はまとめて行いますので、よろしくをお願いします。

1つ目が、第4回さいたま国際マラソンが12月8日、9日に開催すると決まりました。本大会に期待することを教えてください。

2つ目が、2020年東京五輪の聖火リレーの日数配分が決まり、埼玉県は3日間となりました。今後詳細なルートが検討されますが、どのようなルートになってほしいですか。期待するところはありますか、お聞かせください。

3点目が、森友学園に係る文書改ざんから始まり、防衛省、加計学園に関するものなど、公文書のあり方に関する問題が相次いでおります。市長の受けとめと市の文書管理についてお聞かせください。

以上です。

○ 市長

それでは、幹事社質問に順次お答えしたいと思います。

まず初めに、第4回さいたま国際マラソンについてでございます。代表チャレンジャーの部については、開催月を12月に変更したことで実業団女子駅伝の日程を気にする必要がなくなって、注目選手がたくさん出場できる大会になったということで、多くの方々に参加していただくことを期待しております。

また、市民（フル）マラソンにつきましては、初めて「女子ビギナーの部」を新設いたしまして、女性の参加者数を向上させていきたい、そして大会全体の活性化につなげていきたいと大いに期待しているところでございます。

また、事前の受け付けを廃止いたしまして、ナンバーカード等を送付することといたしました。日帰りで参加できることで範囲が広がり、より多くの方々に参加していただきやすい大会になったと考えております。

さいたま国際マラソンは、さいたまスーパーアリーナを発着点としておりまして、最寄りのさいたま新都心駅は各地からのアクセスが非常にいい駅でもございます。駅から徒歩3分で、空調が整っている屋内施設で着替えができる、このことはランナーにとっても大変大きなメリットではないかと思っております。これらのことを含めまして、市民フルマラソンに多くの皆さんに参加をいただきたいと思っております。

5月9日水曜日から市民優先申し込みが始まります。5月14日月曜日から県民優先申し込み及び5月21日月曜日から一般申し込みが開催されます。ぜひ多くの方々にご参加をいただきまして、都市と田園が織りなす風景をご覧いただきながら、さいたま市の魅力を感じていただきたいと思っております。

また、ファンラン部門が充実しているのがこの大会の特徴の一つでもあります。普段走ることから疎遠になっている方にも、8キロメートルの部や、あるいは親子ランの部、また2時間チームランの部などで汗をかいて走る楽しさを実感していただきたいと思っております。

また、ランナーのみならず、大会を支えるボランティア、沿道などで応援する人など、さまざまな立場で市民が関わっているさいたま国際マラソンは、「スポーツのまち さいたま」の実現に向けて、本市の強みの施策の一つであると考えております。大会の成功に向けて、また一段と努力をし

ていきたいと考えております。

続きまして、2つ目の2020年東京オリンピック聖火リレーについてのご質問にお答えしたいと思います。埼玉県内の聖火リレーの日数につきましては、会場が所在するという点が考慮をされて、通常よりも1日多い3日間を設定されたと聞いております。大変嬉しく思っているところであります。

聖火リレーは、オリンピックの象徴的なイベントであり、人々の記憶にしっかりと残り、またレガシーとして次の世代に語り継がれていくものがあります。64年の東京オリンピックのときには、旧中山道を聖火ランナーが走り抜け、沿道が大変な賑わいであったと聞いております。

なお、ルートを選定については、今後、埼玉県が実行委員会を立ち上げ、検討していくと伺っております。会場市としても、聖火リレーを通して、聖火ランナーと市民が一体感を持って、大会開催に向けた気運をさらに高められるように、また盛り上がるようにしていきたい。また、多くの市民の皆さんに見ていただけるように努めていきたいと考えております。

それから、3点目であります。公文書の管理についてのご質問にお答えをしたいと思います。森友学園に係る文書改ざん問題あるいは防衛省、加計学園に関する文書問題については、報道している内容しか承知しておりませんので、あえてコメントについては控えさせていただきたいと思っております。

一般論で申し上げますと、先月の記者会見でもお伝えをしたとおり、決裁文書が改ざんされるということは常識では考えられないと認識しております。

本市では適正な文書管理を行うために、職員研修や文書管理状況調査等さまざまな機会を通じまして、職員や各課に対し文書の管理、また指導等を実施しております。

公文書は、職務を執行するために作成するものであり、職員一人一人がその重要性を認識することが必要であるとともに、改ざんをさせない、また改ざんを認めない組織、また組織風土づくりも必要であると、今回の事案を教訓として再認識をしているところでもございます。

今後も行政運営における公平性の確保と透明性の向上を図ることに努め

て、市民に信頼される市政を進めていきたいと考えております。

以上でございます。

幹事社質問①に関する質問

- 共同通信 それでは、幹事社質問の説明に関して、質問がある社は質問をお願いします。
ます。
- 埼玉新聞 埼玉新聞と申します。

さいたま国際マラソンについてお伺いします。ずばり市長は今回は参加されるのでしょうか。
- 市 長 私は、2回目のさいたま国際マラソン、フルマラソンに出場させていただき、去年はフルマラソンには出ませんでしたけれども、チームランのほうで走らせていただきました。

第4回目、今年はまたフルマラソンにチャレンジをしたいと思っております。
- 埼玉新聞 練習等はされているのでしょうか。
- 市 長 ぼちぼちと始めました。やはりフルマラソンを完走するには、ある程度の期間練習をしなくてはいけないと考えておりますので、公務の合間を縫って走る練習をしっかりと行って、完走したいと思います。
- 埼玉新聞 目標タイムはございますか。
- 市 長 目標タイムは、前回5時間26分26秒、ゴーフロフロと、こう言っていますけれども、今回はできれば5時間を切れたらいいなと思って、それを目標に立てながら練習をしていきたいと思えます。
- 共同通信 それでは、そのほか質問がある方はお願いします。

その他：東日本連携都市の表敬訪問について

- 日本経済新聞 日本経済新聞です。

東日本連携創生事業に関連で質問があります。今週連携都市を表敬訪問なさったと思うんですけども、その表敬訪問の成果と、訪問されて今後事業にどういったふうに生かしていけることが、何か新たな発見があれば教えていただきたいです。
- 市 長 それでは、ご質問にお答えしたいと思います。

4月17日、18日の2日間、北陸の南砺市、それから氷見市、高岡市、金沢市を訪問させていただきました。連携・創生フォーラム自体4回目を

迎えるわけですが、これまでもこの4市の皆さんにはずっと参加をしていただいておりますけれども、改めてさいたま市としての思いを伝えようということで、私どもも今職員等にも話をしているのは、この東日本連携はさいたま市の発展のためだけにやるのではなくて、むしろさいたま市が東日本の玄関口として、また対流拠点として、東日本全体の発展のためにやっていく、さいたま市が東日本のいろいろな活性化や発展に協力をしていく、そういったスタンスをしっかりと持ってやっていくことが結果としてさいたま市の発展につながっていくんだと職員にも話しているところですが、そういった思いを、(4都市の市長に対しましては、私から)お話をさせていただいたところでございます。

具体的には、まず先ほどもオリンピックのお話がありましたけれども、東京オリンピック2020大会に向けまして、インバウンドに対する共同PRなどの施策を東日本連携で進めていきたいというお話をさせていただきました。特にさいたま市はサッカーとバスケットボールの会場になっております。特にバスケットボールについては、さいたまスーパーアリーナで男女全試合が開催されるということもございまして、またオリンピックの中でも大変人気のある競技でもございまして、80万人ぐらいの数の方々が訪れるだろうと推計もなされておまして、その中でそういった方々をできるだけ東日本の北海道、東北、上越、信越、北陸、こういった地域につなげていきたいと。もちろんオリンピックより前に来ていただいて、そういった都市に寄っていただいて、観光を楽しんでから来るというケースもあるでしょう。あるいは試合を見終わったあとに行くというケースもあるでしょう。あるいは、新幹線であると1時間で、例えば仙台まで行けたり、あるいは那須塩原だとか、水上だとか、あるいは長野とか、広範囲にいろいろなところに行けることになりますので、そこから見に来ていただけるということもできるだろうと思っておりますので、共同の事前のPR活動、また当日も含めたPR活動など、具体的に事業として行ってきたいというお話をさせていただいたところでありまして、それぞれの市からも大変賛同もいただき、また大きな期待も寄せられたところであります。

また、今JR東日本のほうで、新幹線の臨時便の増設等々いろいろな話題になってございまして、特にこの臨時便が増えるということであったり、

あるいは大宮始発の話題もございまして、大変関心が高い。特に北陸新幹線の便数が増えることに、大変大きな期待を持っておられます。交通の結節点であります大宮駅を擁するさいたま市への期待も大変大きいと改めて感じたところでございます。

今後、来週23日には仙台市長さんを表敬訪問させていただきます。市長同士の絆をさらに深めて、東日本連携をより一層推進をしていきたいと考えております。

金沢については特に、北陸新幹線の経済効果が非常に大きいこともあって、より多くの便数に対する期待もありましたし、その中でさいたま市が東北との結節点になることも大いに期待をされておられました。

以上です。

その他：大宮駅始発・新函館北斗駅行きの臨時便について

○ 埼玉新聞

埼玉新聞です。

今の質問に関連してなんですけれども、JRのほうで今年の6月23日、30日に大宮始発新函館北斗駅行きの臨時便はやぶさ101号、この新幹線が走ることが発表されました。この大宮始発が2年連続出るということについての受けとめと、期待みたいなものをお伺いできますでしょうか。

○ 市長

6月23日と30日と、また臨時でありますけれども大宮始発の新幹線を走らせていただくことは、大変私たちにとっても嬉しいことであります。去年も6往復、臨時便を走らせていただきました。こういった臨時便を走らせていただくことで、大宮始発が物理的に可能であるという認識が当然高まってくることにもつながると思いますし、今後ダイヤ改正等行われる際には、臨時便ではなくて固定の大宮始発につながっていけばなと思っております。またこの大宮始発の臨時便を私どもも大いに活用させていただくことで、東日本との、いろいろな地域との連携がさらに深まることもあると思いますので、そういった両方の期待感を持って私たちとしても捉えていきたいと思っております。

その他：ラグビーワールドカップの公認キャンプ地について

○ 読売新聞

読売新聞と申します。

ラグビーワールドカップの件なんですけれども、公認キャンプ地に内定されたということで、どんな点が評価されて内定されたというふうにお考えでしょうか。

- 市長 キャンプをする場所等についてはセキュリティの関係で非公表でありますけれども、練習する場所、そして滞在する宿泊施設等、十分ワールドカップの代表チームが練習するにふさわしい場所ということで位置付けをいただいたと私たちは認識し、そういった施設を持っているということで評価をいただいたと思っております。

また、あわせてルーマニアチームについては日本代表と最初に戦うと聞いておりますので、そういうチームが来てくれるということは大変私たちとしても前向きに受けとめたいなと思っております。

- 読売新聞 関連してなんですけれども、ルーマニアの代表チームの関係者というのは今回視察は行われていないということではよろしいでしょうか。

- 市長 ちょっと担当来ていませんので。

(会見後追加：ルーマニア代表チームは、現在までに本市の視察を行っていない。)

- 読売新聞 では、また後で。

- 市長 ほかにございますか。

その他：中央官庁のセクハラ問題などについて

- 朝日新聞 朝日新聞ですが、今中央官庁で問題になっていますセクハラ問題についてちょっとお伺いしたいと思います。

今、財務事務次官のセクハラ疑惑ということで、今男性の本人は否定していますが、記者の間でそういうやりとりがあったのではないと言われておりますけれども、今の、いわゆる市長として、そういう事務方トップであり、政治家であり、そうした人間として、セクハラとかそういう問題についてどう受けとめているのかということと、それからさいたま市として、例えば庁舎内でのセクハラ問題、あるいは取引のある外部の方との間でのそういったトラブルみたいなことについて、例えば年間何件あったとか、どういう事例があるとか、そういうことについては何か把握されていますでしょうか。

- 市長 それでは、今のご質問にお答えをしたいと思います。

まず、今回の案件については私も詳細を認識しているわけではございませんので、これについてのコメントは差し控えたいと思っておりますが、今いわゆるセクハラであったり、あるいはパワハラであったり、やはり職務上優位な立場にある人間が、その地位を利用して、業務の適正な範囲を超えて精神的、また身体的な苦痛を与える、あるいは職場環境を悪化させる行為ということは決して許されるものではないと思っておりますし、それについては私たちも十分日々認識をし、注意をしながら仕事をしていかなければいけない立場にあると認識をしているところであります。

その中で、今さいたま市としての取組についてでございますけれども、さいたま市ではあらゆるハラスメント、パワハラ、セクハラも含めまして、ハラスメントに対応するために「さいたま市職員のハラスメントの防止等に関する要綱」を整備しまして、より働きやすい職場づくりに向けて取組を行っております。

職員に対しましては、要綱等による周知のほか、管理職職員を対象とした研修を行いまして、ハラスメントは決して許されないという意識づけを行っているところでございます。

また、職員の相談窓口としましては、各任命権者の人事担当課のほかに、公平な審査等を行っていただくために人事委員会の事務局においてもハラスメントに対する苦情等について対応していただいております。相談の内容から判断して、必要な場合は加害者とされる者や所属長に対して調査、確認等を行い、問題解決に向けて当たることとしております。

パワハラは、職員内の優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて精神的、また身体的苦痛を与える、または職場環境を悪化させる行為でありますので、これらについては絶対してはいけないという意識のもとに、さいたま市としては取り組んでいくつもりでございます。

また、このような事案についてでございますけれども、セクハラに対しては、さいたま市ではこのような事案はないと認識をしています。

また、パワハラに対しましては、昨年、西部環境センターに係る裁判におきまして、「パワハラを受けていたものと推認することができる」との判決があったことは承知をしております。今後、万が一このような事案があった場合には必要な調査を行って、厳正に対処していきたいと思っております。

さいたま市の課題に対していろいろな議論を行って、時々ヒートアップというか、熱い議論が行われるということがあったとしても、個人攻撃であつたり、あるいは業務の適正な範囲を超えた精神的、肉体的な苦痛を呼び起こすようなことは絶対に、これはあつてはならないことだと考えております。

いずれにしても私たちはそういうことを日々認識して、また戒めながら日々の業務に取り組んでまいりたい、と考えております。

その他：議題①に関する質問

○ 埼玉新聞

埼玉新聞と申します。

先ほどの「新幹線変形ロボ シンカリオン」の件についてお伺いいたします。この主人公の名前は、大宮に住んでいるハヤト君という名前です。シンカリオンの基地は大宮区の鉄道博物館ということで、非常にさいたまにゆかりがあつて、大宮駅の風景なども出てくると。

まずこの、市長、アニメをご覧になっているとしたらその受けとめをお伺いしたいのと、あとアニメツーリズムという観点なんですけど、アニメで観光誘致ですとか地域おこしにつなげていくというところで、県内ですと久喜、鷲宮ですとか秩父、川越あたりは、このあたりに力を入れていると思うんですが、その辺に取り組んでいこうとか、そういったお考えというのはございますでしょうか。

○ 市長

一部拝見させていただいております。今、子どもたちに大変人気があるということを知っておりますが、「鉄道のまち」でありますさいたま市、また大宮が舞台になって、そして主人公は地元の実在する小学校に通っているという設定と聞いておりますので、そういう意味ではさいたま市民にとっては大変なじみの深い、またありがたいアニメであると思っております。

そんな中で、今お話がありました。さいたま市は、近代漫画の祖であります北沢楽天さんが住んでいた市でもございまして、これまでも漫画、あるいはアニメについても取り組んできたつもりでございますが、昨今、やはりクールジャパンの大きな重要なコンテンツの一つとして、日本のアニメが非常に海外でも人気を博していることも聞いておりますし、また今お話ししたアニメツーリズムがいろいろな形で、地域、地方創生の大きな起爆剤として活用されているということも聞いております。私たちも、今もソ

ニックシティでは「アニ玉祭」が行われたり、いろいろな取組が行われておりますし、市としても北沢楽天さんを活用して、漫画大賞でありますとか、そういったものをつくっておりますので、今後、さいたま市の地域文化であります漫画と、さらに鉄道がコラボしたシンカリオンなども大いに活用させていただいて、さいたま市の地方創生にもつなげていきたいという思いがございます。

東日本連携でも、ちょうど南砺市はアニメーションを活用して、地方創生に取り組んでいるということもございますので、そういう連携も将来的にはあり得るのかなと考えています。

その他：東日本連携都市との五輪に関する共同PRについて

○ 時事通信

時事通信社です。

先ほど東日本連携であったんですけども、五輪に関して共同PRをしたいというところの参加自治体の範囲とか、共同PRというのは具体的に何をしていくのか、あと共同PR以外に五輪絡みで連携が考えられること、考えていることがありましたらお答えいただきたいんですけども。

○ 市長

実を言うと、今回第4回の東日本連携・創生フォーラムのテーマがそれになる予定でございますので、基本的にはそこでいろいろ議論を深めて、そして参加者を募っていきたいと思います。

東日本連携・創生フォーラムでは、スタート時は17だった自治体が、今24まで増えてきました。そして、もちろん全て24の自治体がそろわないと何かをしないということではなくて、まさに手挙げ方式でございますので、お互いにこの事業で一緒に取り組んでいこうと手を挙げていただいた自治体の皆さんと一緒に、知恵を絞りながら共同PRをし、オリンピックでたくさんの外国人観光客、あるいは全国から観光客がお越しいただけますので、そのチャンスは逃さずに、さいたま市にも、また北海道や東北や上越、信越、また北陸といった地域にも、しっかりと私たちとしてはつなげていく取組をしていきたいと思っています。

今、その具体的な手法等については、ちょうど11月に向けまして案を固めているところでございますので、またそのタイミングでお知らせをしたいと思っています。

○ 時事通信 今の件ですけど、11月に向けてというのは、その24自治体なり参加自治体とという理解でよろしいんですか。

○ 市長 そうですね。当然フォーラムの前に、事前に実務者レベルでの打ち合わせや会議も行わせていただいてから、首長さんたちにも参加していただいたフォーラムという形になってまいります。少し具体的にできそうな、あるいはやっぴこうという事業については、できるだけ事務方で少し実現性を高めた形で話し合いができるようにしていきたいと思っています。

その他：上田知事の全国知事会会長就任に伴う県と連携した国への要望

○ 産経新聞 産経新聞と申します。

上田知事のほう为全国知事会の会長に就任しましたけれども、今後さいたま市として県と連携して、国に何か要望していきたいこととか求めていることとか、そういったことあればちょっと教えていただければよろしいですか。

○ 市長 (国に求めていくものとして) やはり一つ大きなものとしては、国からの権限移譲ということが一つあります。具体的なこういった権限を、ということについては、今後知事会や、指定都市市長会の中でしっかり焦点を絞りながら、要望していきたいと思っております。

また、もう一つ、全体の共通の課題としては、臨時財政対策債の問題があると思っております。私たちも、機会があるごとに、この臨時財政対策債について交付税でいただきたいと申し上げているところでありますけれども、これがなかなか改善されていないので、地方自治体みんなそれぞれ努力をされていて、いわゆる市債、県債そのものについてはかなり減少させてきたり、いろいろな努力をされて効果を上げているはずなんです。どうしても臨時財政対策債の部分が年々多くなって、さいたま市も臨時財政債のほうが多いぐらいになってきているのかな、かなり割合として年々高くなって積み上がってきているという状況がありますので、そういったことも含めて要望していきたいと思っておりますし、そういう意味では指定都市市長会と知事会という連携もしていかなければいけないと思っております。また知事とは九都県市首脳会議で首都圏という立場でも連携をしておりますので、そういった場でもいろいろお話をしながら、全国知事会、地方六団体

のトップの一人ということになりますので、これまで知事が地方から国を変えていこうということで、さまざまな発信もしていただいていますので、そういった力も借りながら、私たちが協力をし、また提案しながら努めていければと思っております。

- 産経新聞 市長にとって、権限移譲というところで特に優先的にこの部分をしてもらいたいというのは。
- 市長 現時点ですか。
- 産経新聞 現時点で。
- 市長 国からの権限移譲の部分と、あと政令指定都市としては県からの権限移譲という2つがございます。その中で、現時点だと国からの権限移譲については、かなり地方への権限移譲は進んできたり、あと県からの権限移譲についても国の施策の中で、例えば教員の給料を払う権限を、政令指定都市に移管していただきましたので、人事権と財源もあわせて移譲していただいたりもしています。ですから、国から地方へという部分と、県との関係の中で権限が移譲されるという2つの視点から、私たちがより具体的に、一番課題になっているものから提案をしていきたいと。ちょっと現時点では、今すぐ申し上げられませんが。

県の立場と政令市の立場の共通の課題ということでは、あるいは地方六団体全部の課題としては、やはり臨時財政対策債の問題が一番大きいかなと思います。

その他：サッカーJリーグ 浦和レッズと大宮アルディージャについて

- 埼玉新聞 埼玉新聞でございます。

サッカーのJリーグについてお伺いします。J1の浦和がシーズン開幕であまり、成績不振ということで監督が解任され、このたびオリヴェイラ新監督が発表されました。J2のほうでは、大宮アルディージャがなかなかエンジンがかからない状態で、今低迷をしていると言っているかと思うんですけども、あまり調子がよくないですけども、この市内にホームを置く2つのチームについての現状への受けとめと、今後の期待について教えていただけますでしょうか。
- 市長 まず、前半について言うと、大変両チームとも厳しい状況で、レッズも

初戦から5試合勝ち星がないという状況もございました。その後監督の交代があり、また少し調子が持ち直して、このところは勝ちが続いておりますけれども、また新しいオリヴェイラ監督が就任されたので、もともと戦力が充実しているし、大変力のあるチームだと思っておりますので、これからオリヴェイラ監督のもとに、さらに強いレッズが中盤から後半に向けて活躍していることを期待したいと思っております。

また、大宮アルディージャについては、今年J1からJ2に降格したということで、何としてもこの1シーズンでJ1復帰を私たちとしては期待しておりますし、またJ2で戦い始めると、試合のスケジュールが非常に厳しいこともあって、コンディションが十分に維持できなくて、なかなかJ1に上がっていけないというような状況が生まれているチームもございます。巻き返しを図っていただいて、とにかく1シーズンでJ1に振り返っていただくことを大いに期待をしたいと思っております。

○ 埼玉新聞 埼玉新聞でございます。最後の1問です。

群馬県の藤岡市長選挙についてお伺いしたいんですけど、あさって4月22日に投票が行われます群馬県の藤岡市長選挙に、清水市長の秘書を務めていらっしゃった40歳の金沢充隆さんが立候補されていますが、まずこのことについての受けとめと、何か相談ですとかアドバイスですとかあったのか、あるいは応援のご予定がもしございましたら教えていただけますでしょうか。

○ 市長 今、藤岡市長選に出馬している金沢候補は、私が県議の時代から秘書になって、しばらくの間秘書として活躍をしてくれて、私を支え、またさいたま市のために働いてきてくれた人でもあります。なかなか私自身は、今回応援にお伺いすることはできませんけれども、若い力で藤岡市をさらに発展をさせていきたいという思いで地元へ帰って、一生懸命活動してまいりましたので、彼のこれまでの活動を大いに生かして、市長選をぜひ頑張ってもらいたいという思いを持っております。

○ 共同通信 どうもありがとうございました。

以上をもちまして本日の記者からの質問を終了させていただきます。

○ 進行 以上をもちまして市長定例記者会見を終了させていただきます。

なお、次回の開催は5月16日、13時30分からを予定しております

ので、よろしくお願いいたします。

午後 3 時 2 0 分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。